



総合振興計画に掲げる分野ごとに 令和6年度の主な事業を紹介します

[新]:新規事業 [拡]:拡充事業

自治・協働



[新] 民間企業の人材活用(国の企業人材派遣制度の活用)	560万円
地域おこし協力隊の活動	3,370万円
集落支援員の活動	1,917万円
定住対策に取り組む集落への補助金	1,000万円
地域づくりや若者女性の活動に対する補助金、人材育成講座	881万円

保健・医療・介護・福祉



老人ホーム入所措置	1億1,937万円
障がい者福祉の推進(医療費助成、介護・訓練等給付等)	2億4,872万円
医療従事者確保対策(学生への支援金、就業支度金)	1,630万円
各種予防接種の実施(インフルエンザ等)	1,675万円
各種健診の実施(健診、がん・歯科検診、乳幼児健診等)	3,659万円
介護保険事業計画・高齢者福祉基本計画・次期自死予防計画の策定	470万円
飯南病院の運営資金補助	3億5,773万円

教育・文化・子育て



[新] 滞在型地域交流拠点施設の整備	3億2,097万円
第3期子ども・子育て計画の策定	241万円
[新] 病児・病後児保育施設の整備	6,655万円
保育所の運営	3億682万円
[新] 不登校児童・生徒の支援	684万円
[新] 教育環境基本計画の策定	456万円
[新] 志々小学校の耐震診断・補強設計	978万円
町内産食材を活用した学校給食の魅力化	100万円
国民スポーツ大会(R12)に向けたソフトボールチームの支援	83万円
[新] 民俗資料館の今後の施設のあり方に向けた検討・調査	234万円

産業



特定地域づくり事業協同組合への支援	2,100万円
[新] 飯南米のブランド化に向けた農家への支援(エコロジー米の推進)	327万円
リースハウスの整備(10棟)	1億120万円
[新] 振興作物の支援(サツマイモ倉庫整備への支援)	3,068万円
農作物の鳥獣被害防止(防護柵等の支援)	1,417万円
琴引スキー場の機能強化	1億1,456万円
商店街街路灯の更新(赤名、上来島、野萱)	2,300万円
[新] 大しめなわ創作館の10周年記念イベント	121万円
い〜にゃんPAYの普及・利用促進	422万円

生活環境



[新] 定住相談の業務委託	601万円
セミオーダー住宅(1棟)建築	2,995万円
公共交通の確保(町営バス、デマンドバス等)	9,463万円
第3次公共交通計画の策定	275万円
ごみ処理施設運営負担金	1億1,460万円
町道改良工事	1億4,949万円
住宅店舗リフォーム補助金	301万円
[新] 町営住宅の建設(頓原)	2億5,908万円
消防団関連経費(消防団活動経費、車両更新)	5,956万円
[新] 八神地区の農業集落排水設備の更新	1,408万円
合併浄化槽新規設置(10基)	1,430万円

令和6年度 当初予算の概要

今年度の一般会計当初予算は、昨年度と比べ7億5千万円の増加となりました。増加の主な要因は、滞在型地域交流拠点施設や病児・病後児保育施設の建設費用のほか、来島拠点複合施設の建設など大規模事業の町債(借金)の返済が始まったことが挙げられます。支出が例年の予算規模を大きく上回ったため、財源の確保が極めて厳しく、基金(貯金)を取り崩すことで対応しています。

今年度は第2次総合振興計画の最終年度です。次期総合振興計画の策定を見据えて事業を見直し、限られた財源を効果的に活用していきます。

■問合せ/総務課(財政担当) ☎ 76-2211

一般会計・特別会計合わせて

112億9,513万円

町民1人当たり・1世帯当たり(令和6年4月1日現在)

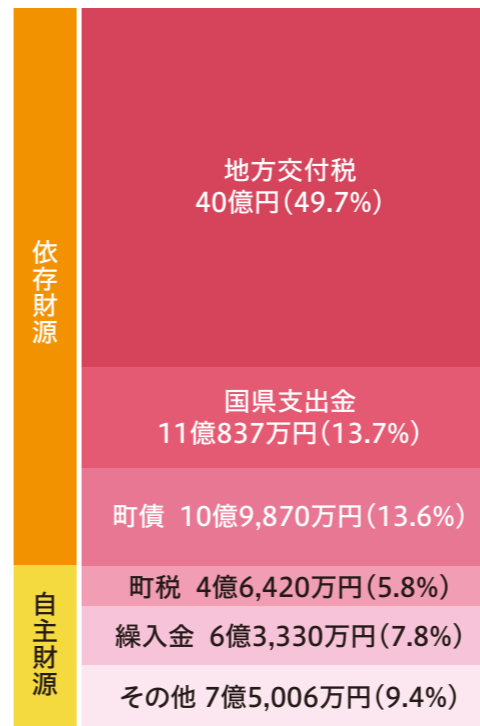
●人口:4,392人	●世帯:1,978戸
[使用する費用]	[負担する税金]
1人当たり:257万円	1人当たり:11万円
1世帯当たり:571万円	1世帯当たり:23万円

前年度比
6.3
ポイント増

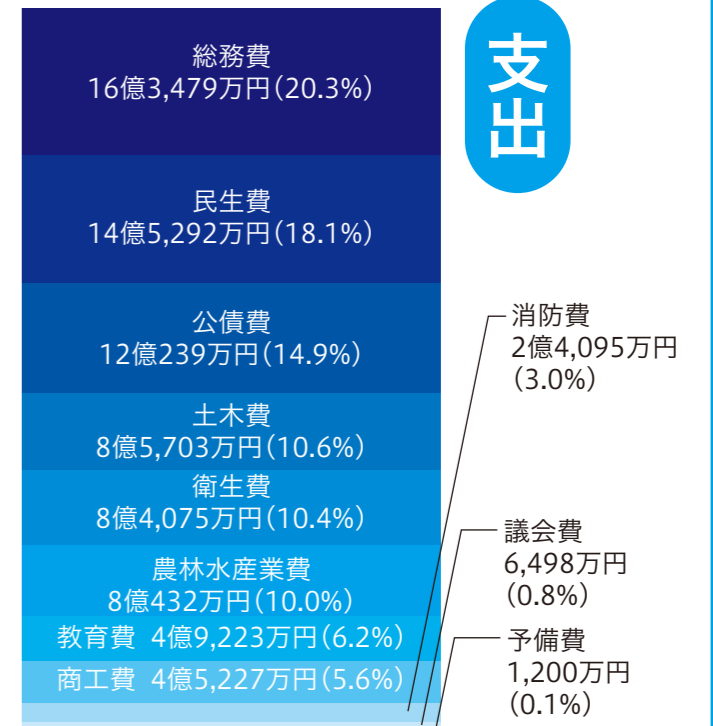
会計名	予算額	前年度比
一般会計	80億5,463万円	10.2ポイント増
国民健康保険事業	6億2,031万円	5.0ポイント減
後期高齢者医療事業	1億8,515万円	0.7ポイント増
介護保険サービス事業	3,811万円	0.9ポイント減
病院事業	14億728万円	8.7ポイント減
簡易水道事業	4億996万円	7.5ポイント増
下水道事業	5億7,970万円	12.1ポイント増
合計	112億9,513万円	6.3ポイント増

一般会計当初予算 80億5,463万円

収入



支出



地方交付税は国の制度改正による増加等を見込んで昨年度から1億5千万円増加の40億円を、町債(借金)は大規模事業の実施により昨年度から3億7千万円増加し、11億円の発行を予定しています。基金(貯金)の取り崩しは、支出の増加により昨年度から1億9千万円増加し、6億3千万円となりました。

今年度を実施する予算規模の大きな事業は、総務費の滞在型地域交流拠点施設整備(3億2千万円)のほか、民生費の町立保育所運営費(3億1千万円)、土木費の町営住宅建設費(3億2千万円)などがあります。公債費(借金の返済費用)は、昨年度から1億5千万円増加し、総額12億円となり、返済資金の調達は厳しい状況が続いています。